

# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第275号 平成7年11月



『五日市広徳寺の黄葉』 小机敏昭

## 目 次

	頁		頁
1. 定款施行規則検討委員会答申書 ……	2	5. 同好会短信	
2. 理事会報告 広報部 ……	4	テニス部練習会 渡辺良友 ……	16
3. 会員通知・医師会の動き 事務局 ……	7	6. 理非曲直	
4. 各部だより		医師会報編集の疑問点	
新旧事務長歓送迎会 総務部 ……	9	中村 武 ……	17
医療協報告 地域医療部 ……	9	7. お知らせ 事務局 ……	18
西多摩三師会講演会の御案内		8. 表紙のことば 小机敏昭 ……	19
総務部 ……	10	9. あとがき 高水松夫 ……	19
学術インフォメーション 学術部 ……	11		

# 定款施行規則検討委員会 答申書

委員長 山田正哉  
委員 新井敏彦 大塚 渉  
片平潤一 小机敏昭  
土田守一 真鍋 勉  
湯川文朗

医師会に対する会員の関心度の高揚、総会に於る議案の発案の取扱、医師会役員選出方法等につき会長より定款施行規則検討委員会に対し諮問ありたる事項に関して、種々検討したる結果下記の如き結論に達したのでここに答申致します。

## 1：委任状書面表決等の取扱（施行規則第15条）

① 現在総会開催に当り会員に書面表決の所定用紙が配布された事実がなく、欠席会員が議事に対し、賛成、反対、棄権の意思表示をすることが出来ぬため至急善処すべきである。書面表決は例外的なものでなく、基本的なものとして取扱うべきである。

尚、書面表決は総会前日までに提出するものとする。

② 施行規則第15条第2項の白紙委任状の取扱いは、会議の目的に賛成したものであるの字句を抹消して、会長はこれを行使することは出来ないとする意見と、総会の議決に賛同したものと見做すとする意見がある。

会員の白紙委任状提出の現状を考えると、会員の医師会に対する関心度の低下を意味するもの故に、執行部は一層の努力を払い医師会の活性化に努めるべきである。

## 2：発案に就いて（総会議事規則第13条）

総会にて問題となった発案に対し今後次の如く規定するものとする。

- ① 13条の会員は、議案を発議することができるという字句を発案することができると改正するものとする。
- ② 議案審議終了後、会員は2名以上の賛成者と共に連署して、発案することができるが、発案内容を総会前日までに理事会に提出するものとする。
- ③ 13条に第2項を設けて、発案は議決できぬ旨を明確に規定すること。
- ④ 提出された発案の採択は、総会に諮るか或は議長が決定するものとする。

## 3：互助会に就いて

- ① 定款施行規則中に、互助会の件を入れることは見直すべきで、医師会とは別個の組織として運営すべきものであって、施行規則第10条は抹消すべきである。

- ② 互助会は原則としてA会員の入会を以て構成し、B会員は本人の希望によって加入できるものとする。
- ③ 互助会役員と、本会とは別個の人選で構成して運営することが望ましい。
- ④ 今後諸般の事情を考慮して、互助会の入会金、会費、給付金額を見直す必要があると考える。

#### 4：役員選挙に就いて

現在会員の医師会に対する関心度の低下原因の一つとして、本会役員、委員の選出法にあるのではなかろうかとの声がある。

定款施行規則第7章第2節に則って役員、委員の選出を実施しているが、会員、役員の相互に選出した或は選出されたと言う意識に乏しく、医師会運営上に会員の声が反映されぬとの声を聞くと、医師会活性化の一方法として役員、委員の選挙も、また、一理あるものとして検討した結果次の如き結論に達した。

##### ① 役員

会長、副会長は選挙によって選出し、各地区会は、互選理事1名を選出することが出来、残りの理事は会員の選挙によって選出する。病院理事は定款施行規則第49条によって1名を選出する。

##### ② 監事2名は、会員の中より選挙によって選出する。

③ 医道審議会委員の選出は従来通りとし、委員長、副委員長の選出は審議会委員の互選によるものとする。

④ 医道審議会委員長に三公立病院長が入る必要があれば、明文化することが望ましい。

#### 5：B会員に就いて

定款第2章第5条に、本会員はA会員とB会員の二種とし、その種別に関しては別に定めるとあって、第7条第1項には会員は、定められた入会金、会費及び負担金を納入せねばならぬと規定されている。また、定款施行規則第2章第7条に本会の会員は、原則として日本医師会及び東京都医師会の会員となるものと規定しているのにも拘らず本会には、現在東京都医師会員たるB会員と、しからざるB会員があって、明確なる規定がないように思われる。

本会のA会員（開業医）は保険点数を基準として定められた医師会費を、また、開業医のB会員は規定の会費を納入しているが、公立病院の医師会費は開業医と同様に保険点数で算出されたのか、また、その中にB会員（勤務医）を何名含んで算出されたか曖昧さがあって、不明朗な点があるので検討の余地があるものと思われる。

よって、今後B会員（勤務医）の資格を規定する為には、次の事項を考慮する必要がある。

- ① 東京都医師会に入会している医師。
- ② 改めてB会員の会費を納入した者をB会員とする。
- ③ 病院にあっては、各部科長の数をB会員とする。
- ④ 比例代表制で公立病院のB会員を決める。

**理事会報告**

★ Information

10月定例理事会

平成7年10月9日

西多摩医師会館

**【1】 報告事項**

- (I) 各地区会よりの報告 (各地区理事)
- (日の出) 日の出地区の6, 9カ月健診の個別化は現時点ではむずかしい。自治体との協議を継続する。
- (青梅) 6, 9カ月健診は個別化で行う。
- (II) その他 (真鍋委員)
- 定款施行規則検討委報告
- 7回に渡り委員会を開催した。10月中旬頃、答申予定。(答申は巻頭記事に掲載)

**【2】 報告承認事項**

- (I) 入会会員について — 承認 — (真鍋理事)
- (II) 保険指導整備委員会委員の変更について — 承認 — (真鍋理事)
- 笠井 富貴夫 会員 (旧・米谷 豊光 会員) に変更する。
- (III) 学校医及び保育園医の変更について — 承認 — (真鍋理事)
- 都立多摩工業高等学校
- 新学校医氏名 玉木 一 弘 会員 旧学校医氏名 米谷 豊光 会員
- 新産業医氏名 玉木 一 弘 会員 旧産業医氏名 米谷 豊光 会員
- 福生市立すみれ保育園
- 新内科医氏名 笠井 富貴夫 会員 旧内科医氏名 米谷 豊光 会員

**【3】 協議事項**

- (I) 平成8年度自治体よりの諸手当について (大堀理事)
- 例年通り増額要望額を算定し交渉してゆく。
- (II) 災害時に於ける応急救護活動に関する福生市柔道接骨師会との協定について (宮川副会長)
- 救護所における、応急救護は医師の指示により実施する必要がある為、福生市柔道接骨

師会より、福生医師会との協力協定の締結の提案があった。災害時の応急救護活動の充実の一助として、細部検討の上、締結予定。

### (Ⅲ) その他

(大堀理事)

10月13日(金) 医療協を開催予定。

予接・6, 9カ月健診個別化の対応について、地域保健体制整備への対応について等を協議予定とする。

## 10月定例理事会

平成7年10月24日

西多摩医師会館

### 【1】 報告事項

#### (I) 都医医師会長協議会報告 (7年10月19日)

(松原会長)

##### 1. 都医からの伝達事項

##### (1) 会員増強月間について

東京都日医会員は平5年12月現在15,157人、平6年12月14,514人と減少している。これに伴い都日医代議員割当てが31名から29名に減少しているため、会員増強をお願いしたい。現在、西多摩地区ではA①会員163人、A②会員20人、B会員17人、計200人となっている。

##### (2) 都政新聞について

東京のミニコミ紙、都政新聞の平7年8月10日号に福井会長インタビュー記事が2頁に渡り掲載されているので御覧下さい。

##### (3) 東京メトロポリタンテレビジョン開局に伴う協力について

11月よりUHF14チャンネルで開局する東京メトロポリタンTVが都医の協力で医療関係番組「健康家族ABC」を放映する。(毎週月～木、PM1:00～1:30)  
前半は医師会の地域医療活動(病診連携、在宅医療、訪問看護ステーション等の紹介)、後半は健康相談の内容となる。

##### (4) 乳幼児救急診療(特殊救急)事業について

- ★ これまでの内・児科系を一体とした救急体制とは別に乳幼児専門の救急体制作りの為平8年10月より発足予定。  
医師1、オンコール医師1、看護婦等2、事務1を1単位とし18施設(各2床)計36床規模で予定されている。西多摩地域での詳細案は今の所未定。

##### (5) 訪問看護ステーション等の設立状況について

現在、医師会立18、医療法人立39、社福法人8、市町村立1、日赤1、看護協会1、その他4、計71ヶ所となっている。

## 2. 地区医師会からの報告

- (1) 市と契約している各種検診事業における非会員の対応について (保谷市医師会)  
自治体と医師会が契約している各種事業に非会員の参入希望があった場合、今後どう対応するか、都医として協議してほしい。
- (2) 多摩コンチネンスネットワークの発会式について (三鷹市医師会)  
尿失禁の介護治療の啓蒙活動を行ってゆく。平7年12月2日(土) PM2:30~4:30  
三鷹市公会堂大ホールにて講演会を予定している。

## 3. その他

- (1) 在宅医療福祉サービスシステム等へのビジネス産業参入について  
町田市医師会にセコムから下記内容の在宅ケアビジネスを行いたい旨、申し入れがあった。  
通常の医療施設の稼働時間(9:00~17:00)外の在宅ケアで
1. 主治医の指示による看護婦の派遣
  2. 緊急通報の第一次的なコンサルティング
  3. 急変時セコム緊急対処要員の駆けつけ、救急車依頼
  4. 24時間巡回介護の実施
  5. 在宅療養患者の生体情報の24時間監視
- 今後の在宅医療のあり方に影響がある為、町田市医師会としては慎重協議中とのこと。

- (II) 医療協報告 (大堀理事)  
(各部だよりに別掲)

## (III) 各部報告

- ★(地域医療部) 6・9児個別健診の参加医療機関数は現在下記の通り。(大堀理事)  
青梅14、奥多摩0、羽村11、福生6、瑞穂5、あきる野14、  
日の出0、桧原1 計51医療機関  
(学術部) 11月25日 シンポジウム「高齢者医療」を予定。御協力をお願いしたい。  
(小机理事)

- (IV) 各地区会よりの報告  
(羽村) 10月10日市の健康フェアに参加した。(真鍋理事)

## 【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (真鍋理事)

## 【3】 協議事項

- (I) 平成8年度自治体よりの諸手当について (大堀理事)  
増額要望書を10月25日付にて提出し、交渉を行ってゆく。
- (II) 定款施行規則検討委員会の答申後の対応について (真鍋理事)  
10月16日付で答申があった。(巻頭に掲載)、答申を尊重し、理事会として具体案を検討してゆく。
- (III) その他 (真鍋理事)  
西多摩三師会の講演会を11月11日に行うので御協力願いたい。  
(各部だよりに別掲記事)

<h2 style="text-align: center;">会員通知</h2>
---

- 第34回(平成7年度第2回)准看護婦卒後教育講習会の開催について
- 東京都特殊疾病(難病)患者診断の手引
- 東京都特殊疾病の治療及び生活指導の手引
- ポスター(乳新障福医療証をお持ちの方へ)
- 学術講演会(10/23)
- 「1996年版医師記」の斡旋について
- 平成7年度第2回日本医師会「認定産業医」の新規申請について
- 平成8年度「心とからだの健康づくり指導者養成研修」並びに平成8年度「健康測定研修(特別コース)」の開催について
- 平成7年度在宅難病患者緊急一時入院事業の増床について
- 平成7年度東京都医師会学校医大会第2回学校医研修会の開催について
- 6, 9ヶ月児健診協力機関募集
- 学術講演会(11/9)
- " (11/10)

## 医師会の動き

医療機関数	181	病院	28	会議	
		診療所	153	10月9日	理事会
会員数	388	A会員	173	13日	医療協
		B会員	215	18日	会報委員会
				24日	理事会
				27日	在宅難病調整委員会

## 各部だより

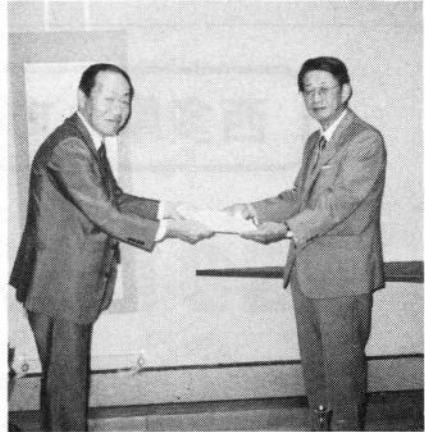
## 総務部

## 新旧事務長 歓送迎会

古屋慶之助事務長の定年退職と、永井克明新事務長の就任にあたり、9月29日(金)夜、ホテル福生国際会館「上水亭」にて、医師会役員、事務局員による、歓送迎会を行いました。古屋事務長は昭和56年、埼玉銀行から西多摩医師会に転じ、以来14年間に渡り、医師会の支えとして尽力されました。その功労を讃え、会長より感謝状と記念品を贈呈致しました。

古屋事務長から、会の様々な出来事に思い出を馳せながらの感謝と退職の辞をいただきました。それを受け、永井新事務長からは会務を引き継ぐにあたっての決意ある挨拶があり、出席者一同、古屋事務長の永年の御苦勞を労いました。

(玉木)



感謝状の贈呈

## 地域医療部

## 医療協報告

定例の医療協が10月13日午後1時30分から西多摩医師会館で開催されました。今回の話し合いでの申し合わせ事項は以下の通りです。

- ① 6カ月、9カ月児健診は個別健診で行う。
- ② DPT接種は原則として1才から行う。

(大堀)

## 公衆衛生委員会主催講演会

演題：予防接種法改正に伴う諸問題

日時：11月15日(水) 午後7時30分

場所：西多摩医師会館

講師：山本小児科医院 山本光興先生



総務部

## 西多摩三師会講演会の御案内

西多摩三師会は今年6月、西多摩の地域医療の質的向上と充実をめざして発足致しましたが、その活動の一環として西多摩8市町村の一般住民の方々を対象に下記講演会を開催することとなりました。御参加、御協力をお願い致します。

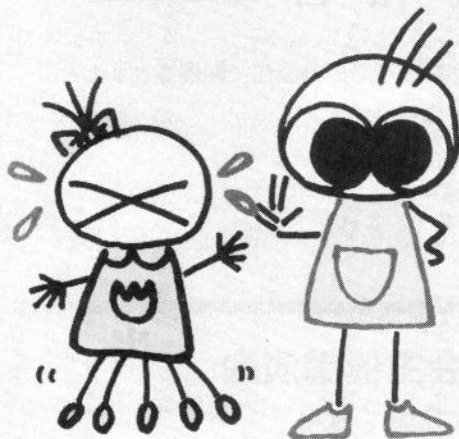
西多摩8市町村の皆様へ送る

# 西多摩三師会の講演会 「ストレスと子供の心」

講師 日本児童青年精神医学会理事  
発達医学研究所かわいクリニック院長  
医学博士

入場無料

河合 洋



●●日 時●●  
平成7年11月11日(土)  
午後2時～4時

●●場 所●●  
羽村市  
コミュニティーセンター3F

主催 西多摩三師会 (医師会、歯科医師会、薬剤師会)

後援 あきる野市・青梅市・羽村市・福生市

奥多摩町・日の出町・瑞穂町・桧原村



学術部

Information



《11月の学術講演会》

① 11月9日(木) 7<sup>30</sup>pm～ 於：ホテル稲佐 (日本医師会生涯教育講座)

演題名：「排尿障害について」

講 師：杏林大学医学部泌尿器科教授 東 原 英 二 先生

東原先生は、1972年東京大学医学部卒業、同大泌尿器科入局、1976～78年米国テキサス大学腎臓科へ留学、1988年東京大学泌尿器科助教授を経て現職、現在、日本泌尿器科学会、日本腎臓学会、日本Endourology・ESWL学会、日本骨代謝学会、日本内分泌外科学会等、数多くの学会・研究会で御活躍中です。今回は「排尿障害」について、内科治療・外科治療の選択等につき、わかりやすく講義をしていただきます。

② 11月10日(金) 7<sup>30</sup>pm～ 於：西多摩医師会館講堂 (日本医師会生涯教育講座)

演題名：「薬剤性腸炎—抗生物質や抗炎症剤による  
大腸炎をめぐる」

講 師：都国保連合会南多摩病院副院長 吉 岡 政 洋 先生

吉岡先生は、1977年広島大学医学部卒業、同年慶応大学医学部内科学教室入局、1984～1987年UCLAサンフランシスコ校内科にて「小腸刷子縁膜酵素の生化学的研究」をまとめ、都国保連合会南多摩病院消化器内科医長に就任、1993年から現職、今回の講演は、その御経験の中から「薬剤性腸炎」に関し、抗生剤・抗炎症剤を使用する際の注意点が中心になります。日常診療にすぐ役立つお話しです。

③ 西多摩医師会学術部主催

シンポジウム『高齢者医療』

日 時：平成7年11月25日(土) 午後2時～5時

場 所：羽村コミュニティーセンター

(羽村市緑が丘5-2-6 TEL 0425-54-8584)

司会：坂本保己先生（青梅市立総合病院副院長）  
小机敏昭先生（西多摩医師会学術部長）

〔演題名〕

1. 高齢者が抱える問題点 …………… 大塚宣夫先生（青梅慶友病院々長）
2. 高齢者診療上の注意点 …………… 森 皎 祐 先生（福生病院々長）
3. 高齢者によくみられる疾患 …… 西村邦康先生（西村医院々長）
4. 寝たきりの予防 …………… 藤本和幸先生  
（青梅市立総合病院リハビリテーション科）
5. 在宅療養者への支援、療養体制の現状と問題点  
………… 藤田みはるさん  
（青梅市役所福祉部健康課保健婦）
6. 高齢者入退院援助業務の現状 … 萬沢せつ子さん  
（日の出ヶ丘病院ケースワーカー）
7. 高齢者の食事の注意点 …………… 鈴木とし子さん  
（東京都五日市保健所栄養士）

高齢者医療に関し、医療、保健、福祉、様々な観点からみた問題点を取り上げ、高齢者がより質の高い社会生活を送るための具体策につき考えてみたいと思います。皆様の討議への参加、お待ちしております。スタッフの方々にも是非出席していただきたいと思ひます。何卒よろしくお願い申し上げます。

- ④ 11月28日(火) 7<sup>30</sup>pm～ 於：ホテル福生国際会館（日本医師会生涯教育講座）  
演題名：「ACE阻害薬と心不全」  
講 師：武蔵野赤十字病院内科部長（循環器）丹羽明博先生

丹羽先生は、老年病学としての循環器疾患に関し、多くの業績をお持ちの先生です。現在、信州大学講師も兼務されております。今回の講演では、最近話題になっております、ACE阻害薬の心不全に対する効果に関し、わかりやすくお話しいただきます。

- ⑤ 12月5日(火) 7<sup>30</sup>pm～ 於：ホテル福生国際会館（日本医師会生涯教育講座）  
「三公立病院学術講演会」

演題名は次号で発表いたします。

## 〈学術講演会聴講メモ〉

平成7年9月28日(木)

演題名:「中高年女性の不定愁訴と漢方」

講師:昭和薬科大学病態科学教室教授 田代真一先生

今回の漢方の講演会を聞いて、漢方に対する考えが一変しました。今まで漢方は科学的、薬理的客観性がどうも今ひとつというイメージがあったのですが、田代先生の研究は、西洋医学の薬理の研究、方法論を無条件にあてはめるのではなく、漢方の特質に応じた独自の研究方法を開発し、漢方の薬効評価、有効成分の確定などに、科学的客観的な解析をすすめていくという画期的な研究です。今後の研究成果が非常に期待されます。

漢方薬の特徴として、まず、多成分系の薬物であるといえます。これはお互いに作用を増幅させたり、拮抗したり、あるいは体内で代謝されて初めて作用成分に変化したりというように複雑な薬理作用をもっていると考えられます。生薬からの単味の成分の薬理研究だけでは、その薬効は仲々説明できません。

又、第2の特徴として、有効成分に配糖体が非常に多いといえます。これは植物が自らに必要な代謝物を、加糖処理することによって無効力化し、貯蔵しているものを、生薬として漢方薬に利用しているからです。この配糖体は、このままでは効力はなく、糖部分を処理することで初めて薬効を示します。この配糖体から糖部分を処理するのに、人体の腸内細菌叢が大きく関与しています。こうした腸内細菌は、個人の食生活、好み等での個人差が大きく、それが漢方薬の吸収、薬効に個人差がでる原因のひとつであると考えられ、漢方でいう「証」がこのことと考えられます。

つまり、漢方薬は配糖体という形をとったプロドラッグであると考えられます。ここに漢方の安全性、薬効を考えるキーポイントがあるようです。

さて、中高年女性の不定愁訴は、社会的ストレス及び加齢変化が、更年期によるホルモン環境の変化で増幅されている状態と考えられます。

これらの症状に個別に対応するとすれば、西洋医学ではどうしても多剤併用にならざるをえません。そこで多様な症状に少量、長期投与でき、安全なものはというと、漢方ということになります。

具体的に、基礎として最初に使う薬は、㉓当帰芍薬散と㉔桂枝茯苓丸です。「虚証」(やせ型で体力虚弱そうな)の女性には㉓が「実証」(がっちりして体力良の)の女性には㉔が適しています。

「虚」のタイプで、心身症的傾向が強い場合は㉒加味逍遥散が、「実」のタイプでは㉑桃核承気湯が適しています。

精神的訴えが主の場合には、㉑柴胡加竜骨牡蛎湯が、鎮静効果もあり、効果的です。

ストレスが非常に大きく胃腸障害を訴える場合は、㉒六君子湯がよいようです。

体力、気力減退が主訴の場合は㉑補中益気湯がよく用いられる。

「虚」タイプで冷え、しもやけ、腰痛が強い場合は、㉓当帰四逆加呉茱萸生姜湯がよい。

㉑によって下痢をおこしやすい場合があるが、その際は、熱湯に薬をとかしてから服用させると、薬の中のダイオウのセンナ成分が熱によって効力が弱まる為に、下痢しにくくなります。

又、生理痛に㊸芍薬甘草湯を頓服的に使ったり、少量連用したりしても効果的である。短い時間の中で、盛沢山の内容で、実地の臨床にすぐ役立つ有意義な講演会でした。

(樋口)

## 〈市民健康講座メモ〉

平成7年10月14日(土)

演題名：「運動生理学からみた子どもの正しいスポーツ指導」

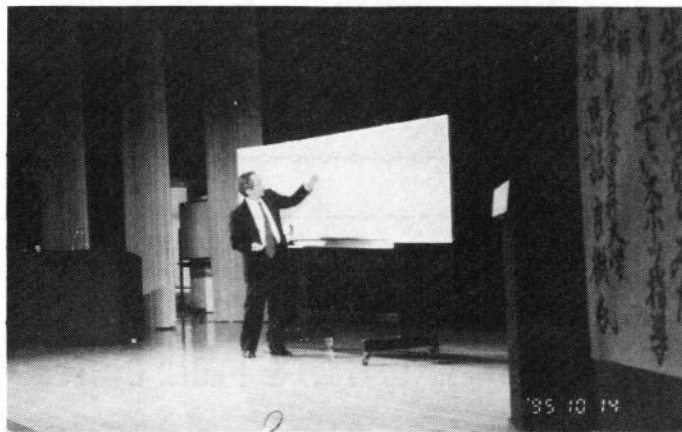
講師：東京慈恵会医科大学第一生理学教授 馬 詰 良 樹 先生

西多摩医師会主催、毎年恒例の市民健康講座が、秋川ふれあいセンター ふれあいホールで開催されました。学生・御両親・スポーツ指導者・学校の先生・保健所の方々・医療関係者・医師等、幅広い方面からの参加者がみられました。馬詰先生の人柄がにじみ出たユーモラスなお話で、白板を使つての講義、途中何度も会場に笑いが起こり、2時間があつという間に過ぎました。以下は講演会メモです。

- 半病人が増えている。医療費増大の原因の1つ
- 病気になる方法として、ジョギングが良いと言われ皆が始めたが、提唱者のフィックスさんがジョギング中に死亡、その後ウォーキングが良いと言われたりしたが、いずれも健康になる方法としての効果は証明されていない。
- 動いていることが生きている証拠。たくさん動く健康にみえる。
- スポーツと筋肉。筋肉には赤と白の2種類がある。赤い筋肉は経済的な筋肉で背中や足にみられるが、消費エネルギーが少なく、マラソン選手に多い。白い筋肉は大腿筋などで、ものすごく早く収縮でき、100m走などスプリンター選手に多い。ちなみに、重量挙げの選手は普通の人と同じ筋肉配分である。
- 筋肉が収縮すると脳がすっきりする。あくびは筋肉の収縮で、あくびをすると脳がすっきりする。正座は赤い筋肉をたくさん使っている状態で、頭がすっきりする。日本は赤い筋肉を使う文化を持っている。
- 健康とは、脳がしっかりしている状態。
- スポーツには2種類ある。(1) オリンピックに出るためのスポーツ、この場合スポーツが原因で死んでも良い。(2) 健康になるためのスポーツ、この場合スポーツが原因で死んで困る。
- 最近流行のスイミングクラブ。水の刺激、呼吸筋の強化、湿度が高い所での運動により気管支喘息の子どもは良くなる。また、水中は重力がかからないので成長期の子どもに適している。ところが、選手コースに進んでから、具合が悪いという訴えが増えてくる。
- 水泳は赤い筋肉を使う運動で、赤い筋肉は子どもに多い、ということから、ピークは20歳以下である。ちなみに、大人になっていくに従い白い筋肉が増えてくる。
- 大人になったら無理のない運動をすること。年をとると疲れがなかなか出て来ない。何日か遅れて出て来るので、中高年の人は、週2回位の運動が丁度良い。
- 大人が子どもと一緒に運動するのは危険である。

- 昔は運動中のどが乾いても水分は取るな、と言われていたが今は全く逆であることがわかっている。子どもは体表面積が多いため、脱水しやすい。このため、運動中の水分補給は重要である。筋肉内の水分が特に脱水する。
- 発育期、骨の発達とともに筋肉も伸びるか、バランス良く発達するのか、問題である。最近、思春期に骨の成長と筋肉の成長の間にひずみがきていることがわかってきた。身体の成長とともに筋肉は伸びない。思春期のスポーツには十分気をつけなければならない。
- 発育痛は身体のひずみのサイン。痛み・疲労は身体にとっては良いこと（生体防御）。疲れは、筋肉内にエネルギー（ATP）が残っているにもかかわらず感じる。これは、ATPがなくなったら筋肉が破壊されてしまうので、その防御機構が働いていることである。
- 運動は、個の特異性に合わせて行なわれるべきものである。適切な運動の指標は、ニコニコペースである（特に中高年において）。
- 子どものスポーツ指導で大事なことは、「子どもは無理ができない。全力で動いてしまう。」ということである。
- 運動により鍛えられるのは、1番目に心・肺機能、2番目に筋肉、3番目に骨である。
- 筋肉痛は、乳酸の蓄積だけでなく、筋線維の破壊も伴っている。

(小机)



## 同好会短信

## テニス部 練習会 開かる

平成7年10月10日(祝) 羽村市大聖病院テニスコートにて、テニス部練習会及び試合が行われました。10月8日の健康祭が雨で10月10日当日に延びたため、当日会員一同が会する事が出来なかったため、AM10:00よりPM5:00まで変るがわる練習及び試合を行いました、公式試合とする事が出来ませんでした。それぞれテニスを楽しみながら一同に会するのは忘年会にてと約束し散会致しました。(渡辺記)



## お知らせ

## 医事懇談会 第二木曜会(医考会)を下記にて開催致します

日時：11月9日(木) 午後8時より

会場：秋川ふれあいセンター

テーマ：「西多摩医師会報について」

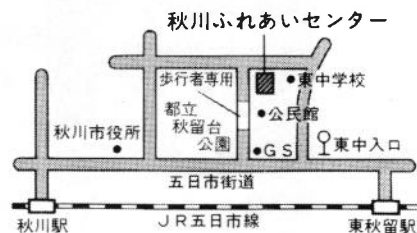
(食事は各自済ませてお出かけ下さい)

交通：

東秋留駅より徒歩 25分

秋川駅より徒歩 30分

西東京バス「東中入口」より徒歩 7分





私の意見

# 理非直曲

りひきよくちよく

## 医師会報編集の疑問点

福生市 中村 武

西多摩医師会報創刊の趣旨は、本会総会にて承認され、創刊号に詳述されている。即ち下意上達の面も重視し

(意義と目的) 会員相互の信頼の念をつくり、会の目的実現、運営の円滑向上に協力するよう働きかける手段として発行する。

(原稿の取捨基準) (1) 個人の誹謗批判これに類するもの。(2) 会員の親睦団結をみだすもの。(3) 会の品位を傷つけるもの。(4) 優先原稿の多い場合。(但しこの場合は遅延) 但し、あくまで編集者の独断をさけるため問題が発生した時には会長立ち会いのもとで、編集責任者と送稿者の間で納得のゆくまで話し合いを持つとしている。

従って西多摩医師会報は執行部を含めた会員相互の連携を主たる目的として刊行されるものであって、会員は誰しも投稿の権利を有し、その寄稿は全て平等に取り扱われるべきものと考えている。しかし、次第に編集委員会の方針に一定の寄稿に対して強いアレルギー反応が出現してきた。単刀直入に言えば、会員への一方向的通達事項、旅行記、随筆等の記事は写真入りで字数を制限する事なく掲載するに反し会運営等に関する会員の投稿は理非直曲なる1頁の項に制限する編集方針は承認し難い。字数を限定し縮小文章にすれば真意が曲解ないしは誤解されることもあり得る。又、編集委員会が規定する理非直曲の範疇に属する寄稿

が同時的に重複した場合の取扱も問題となる。

集団組織であれば十人十色で種々の見解、意見、批判、不満があるのは当然であり、寧ろ会運営に就いての会員の意見や批判の投稿がないことの方が不自然である。会運営に就いての投稿は、より良い医師会を念願する会員の行為なのである。

会長が改選される度に編集方針が変わるのであっては会員にとって甚だ迷惑であり、当初の会報発行の理念を変更して「広報」に近似したものにするのであれば、それはそれで編集委員会の独断によらず総会の承認を得るのが妥当であると考え。何故ならば、会報創刊の趣旨は総会承認を経て発行されているからである。過去に、公正と言う考えから会報編集委員会は広報部を離れ第三者的立場に立つことが総会で承認されており、総会の承認なく変貌してきた会報編集方針は総会決議違反に抵触の恐れがないとは言えない。

現今の編集方針を敢えて好意的に憶測するならば、会報を外部団体にも配布する都合から、執行部の会運営は極めて良好で本会は恰も一枚岩に一致団結しているかの如き広報的な自画自賛の目論みからであろう。会報を対外的広報的な体裁に繕うことと会運営に関する寄稿を同時に編集する事の困難さは想像できるが、それは既成の会報形態にとらわれず弾力的な編集方法で解決できるものと考え。

現在、会員間の横の連絡機構はなく、地区会の意見を理事会で検討の対象としているのかも明らかでなく更には総会議事規則にある発案をも否定されるとあっては下意上達の手段は全く閉ざされている。会報創刊の趣旨に下意上達なる文言を使用していることから、会員の意見を会運営に反映させる媒介としての会報存在価値を当時の執行部は認識していたことが窺える。会員の意見具申を殆ど意に介しない現体制下において、編集委員諸兄が会報刊行の初心を勇氣をもって再認識し、会員の声を姑息的に制約する事なく寛容且つ柔軟な姿勢で大らかに編集することは本会の活性化に必要なことであると思う。

現行の医師会報については、医師会情報の告知、伝達の内容等々に就いても幾多の願望があるが1頁に制限されているので『理非直曲の項に掲載する』制約に限定し、会報全般については言及出来ない怨みを抱きつつ擱筆する。



# お知らせ

## 事務局より お知らせ

12月（11月診療分）の

保険請求書類提出日

12月7日（木）

— 正午迄です。 —

## 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 11月は8日（水）  
12月は6日（水）の予定です。
  - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
  - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
  - ◎ 相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
  - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。



### 表紙のことば

#### 『五日市広徳寺の黄葉』

広徳寺は1373年に創建された臨済宗の寺です。境内には数多くの巨木が立ち並び、秋は紅黄葉の美しさに多勢の見物客、カメラマンが集まります。

陽の当り方で様々な色あいを呈します。写真は巨木の中でもひととき目立つ、いちよりの黄葉です。是非一度お訪ね下さい。

小机敏昭

### あとがき

3年前にスーパーで購入したキウイフルーツが、今年になって初めて実が生りました。50個ぐらいありますが、いつごろ食べたら良いのかさっぱりわかりません。

「リンゴと一緒に食べれば良い」とか、「そのまま放っておけ」とか、いろいろ説があり、何が本当なのか？ 誰か教えて下さい。

高水松夫

社団法人 西多摩医師会

平成7年11月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 玉木一弘

石井好明 奥野 仁 片平潤一 小机敏昭

高水松夫 樋口昭夫 道又正達 山川淳二

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

最新のテクノロジーが計測します  
そして、人の眼と心が記録します



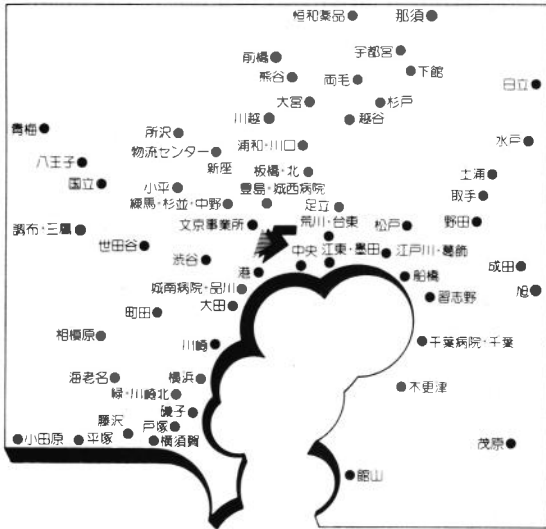
臨床検査のパイオニア

## 保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)  
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区原町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)



地域社会の健康に奉仕する  
**福神ネットワーク**



- |       |    |    |     |    |    |      |
|-------|----|----|-----|----|----|------|
| 病院一・1 | 北  | 島川 | 相模  | 原沢 | 所川 | 沢越   |
| 病院一・2 | 豊品 | 田谷 | 海老原 | 名塚 | 宇那 | 宮須   |
| 病院二・1 | 大田 | 二子 | 平千  | 家原 | 那前 | 毛構   |
| 病院二・2 | 城西 | 世田 | 千成  | 葉院 | 水取 | 戸浦   |
| 城南病院  | 京田 | 谷立 | 千成  | 葉田 | 土取 | 手立   |
| 文千    | 代宿 | 王  | 成   | 野  | 取日 | 能    |
| 新中    | 港  | 八王 | 成   | 志  | 下特 | 販器   |
| 足江    | 戸  | 青野 | 野   | 野  | 下特 | 医C   |
| 江島    | 立川 | 野  | 船   | 野  | 下特 | 断S   |
| 墨荒    | 川東 | 野  | 木   | 野  | 下特 | 薬郵   |
| 台線    | 馬並 | 野  | 館   | 野  | 下特 | センター |
| 杉中    | 野  | 野  | 茂   | 野  | 下特 | 物流   |
| 板橋    | 板橋 | 野  | 川   | 野  | 下特 | センター |
|       |    | 須  | 越   | 野  | 下特 | センター |
|       |    |    | 杉   | 野  | 下特 | 株式会社 |
|       |    |    | 大   | 野  | 下特 | 恒和薬品 |
|       |    |    | 熊   | 野  | 下特 |      |
|       |    |    | 座   | 野  | 下特 |      |

**福神株式会社**

本社 千101 東京都千代田区内神田一丁目12番1号  
TEL. 03(3292)3331(代表)

**健康の輝きをひろげる。**



株式会社 **ビー・エム・エル**

BML

本社・千166 東京都中央区高内町南1-34-5 TEL.03-3316-0111(大代表)  
総合研究所・千350 埼玉県川口市の巻1361-1 TEL.0492-32-0111(代)